

五所川原市長 佐々木 孝昌 殿

駅前周辺の活性化に向けた要望書

五所川原商工会議所

当商工会議所が会員を対象に実施したアンケート調査において、駅前エリアの活性化を求める声が多く、当商工会議所では駅前周辺の活性化や利便性向上のための可能性を模索し実現可能なビジョンを作成するための意見集約の場として、令和5年7月に「駅前賑わい創出特別委員会」を設置いたしました。

委員会活動の中で、令和5年11月に会員、駅前周辺町内会、市内誘致企業、市内高校生を対象に「五所川原駅前に関するアンケート調査」を実施いたしました。その結果、502件もの回答を頂き、その中で43.5%の人が交通機関を利用する際に不便を感じており、更には「乗換・乗り継ぎのしやすい機能」や「周辺の駐車場の確保」など交通機関の利便性向上を求める意見が多くありました。また、多くの方から自由に飲食しながら長時間滞在できる空間や施設を求める意見が寄せられ、さらに宿泊施設や娯楽施設を望む意見も多く、どちらも駅前に滞在し賑わいを創出できるような施設を望んでいることが窺われます。

当商工会議所といたしましては、駅前を中心とするエリアの開発は市民や交通機関の利用者並びに観光客などの利便性が向上し、利用者の滞在する時間の増加や消費行動が生まれ、その延長として地域経済が潤うものと高く期待されることから、それらの実現に向けた仕組みづくりなど民間レベルで可能な取り組みを模索し情報発信に努めてまいります。

また、民間企業が参画し駅前エリアの開発整備が動き出すためには、行政が主体となった取り組みや将来を見据えた方向性、ビジョンを明確に示すことこそが重要であると考えます。

つきましては、令和7年度から令和12年度までを計画期間とした次期五所川原市総合計画に、駅前周辺の開発整備と賑わいの創出に向けた取り組みを位置付けること、また、本アンケートに寄せられた意見や要望を基に駅前周辺に必要な機能を検討し、下記のとおりまとめたので、当商工会議所の意見が同計画に反映されることを強く要望いたします。

I. 公共交通機関の利便性向上のための取り組み

1. 乗換・乗り継ぎしやすい機能

回答者の年代を問わず、JR、津軽鉄道、バス、タクシーなどの乗換・乗り継ぎのしやすい機能を望む意見が多く、観光客、高齢者、通勤通学者など、幅広い利用者のニーズを考慮した設備の充実が求められています。特に乗換・乗り継ぎの際に各施設を結び安全に移動できる歩道の整備や観光客や高齢者向けの乗換時刻や周辺情報の案内板など、利用者が快適かつ安全で迷うことなく目的地まで移動できる仕組みが必要です。

2. 一ツ谷方面へのアクセスが容易になる連絡通路等の整備

大町方面と一ツ谷方面双方向を結ぶ連絡通路の整備は、地域の利便性向上に資する重要な取り組みであると考えます。この連絡通路の整備により駅利用者の移動が容易になるだけでなく、さらなる駅前周辺への利用者の増加が見込まれ、賑わいの創出が生まれることが期待されます。

II. 駅前周辺駐車場の整備

1. 駐車場及び送迎用駐車スペースの整備

駅前周辺までの移動手段として、自家用車の利用が最も多く、そのため駅前周辺駐車場の整備が求められています。駅前周辺の駐車場が不足していることから、通勤通学時の路上駐車が後を絶たず、特に冬季間においては雪の影響で道路や歩道の幅が狭まり交通事故に繋がる危険な状況となっております。駅前周辺駐車場と駅利用者の送迎を目的に利用できる駐車スペースを整備することにより、駅前周辺の施設や店舗への滞在時間の増加や送迎の際の安全が確保されるものと期待されます。

III. 飲食エリアの整備

1. 自由に飲食ができる施設・空間の整備

駅前周辺で待ち時間を快適に過ごすために、自由に飲食できる空間やカフェなどの飲食施設、休憩施設の整備が求められています。飲食エリアの整備は利用者の長時間滞在を促し、賑わいの創出や経済波及効果をもたらします。また、快適な待ち時間を提供することで、利用者のストレス軽減や満足度向上にも繋がり、地域経済の活性化や交通機関利用者の増加も期待されます。

IV. 若年層に向けた施設の充実

1. 図書館を駅前周辺へ移転

駅前周辺には地域交流の場が不足しており、多くの市民がそのニーズを感じております。そこで、図書館を駅前周辺に移転することで、図書館を利用する方のアクセスが容易になり、学生だけでなく多くの市民が利用できる環境が整います。また、学習や知識の獲得、通勤通学のすきま時間に自己啓発や趣味を追求する人々の交流が生まれ、地域の教育水準の向上や豊かな芸術文化を開いていく新たな拠点となることが期待されます。

2. エンターテインメント施設の誘致

多くの高校生から駅前周辺にカラオケやゲームセンター等の娯楽施設を求める意見が寄せられました。放課後や休日に学生が駅前に集まり、楽しい時間を過ごせる空間や施設が提供されることで、若者の交流や賑わいが生まれることが期待されます。高校生の意見を尊重することは、若年層の人口流出の歯止めになるものと考えます。また、娯楽施設は若者のみならず、高齢者等の交流・憩いの場にもなり賑わいが生まれることが期待されます。

V. 快適な滞在環境の整備

1. 宿泊施設の整備

観光客やビジネス出張者の宿泊需要に対し、宿泊施設の不足が指摘されています。西北地域公共交通機関の拠点である駅前周辺に宿泊施設が整備されることで、宿泊客が地元の飲食店や施設を利用し、更なる賑わいの創出や経済の発展に繋がることが期待できます。そのため、開発整備に係る補助金の創設や支援策の提供など、民間企業やデベロッパー等が参入しやすい機会と体制づくりが求められています。

2. 高齢者向け住環境の整備

当地域では自家用車を持たない交通弱者や冬季における除排雪など、住環境に苦慮する高齢者が多く存在し、これらの課題解決に向けた取り組みが急務であると感じております。駅前周辺には、行政・医療・金融・公共交通機関などが集中しており、高齢者に多いとされる交通弱者にとって利便性が良い環境が整っております。高齢者が季節を問わず安心して暮らすためには、冬季の除雪問題を解決できる集合住宅や介護福祉施設など高齢者に優しい居住環境の整備が求められています。

令和6年3月15日

五所川原商工会議所 会頭 山崎 淳一